

ギャスパール・ウリエル

Gaspard Ulliel

ガスパール・ウリエル

生年月日 1984/11/25

出身地 フランス／ブローニュ＝ビランクール

没年 2022/01/19

【バイオグラフィ】

■ 1984年、パリ近郊のブローニュ＝ビランクールに生まれる。父はスタイリスト、一方の母もファッションショーのプロデューサーとして活躍。6歳の時にドーベルマンに襲われ左頬に出来たキズが今も残っている。12歳の頃からテレビを中心に俳優としての経験を積む。高校卒業後はパリのサン・ドニ大学で映画学科を専攻し、本格的なスクリーン・デビューは01年の「ジェヴォーダンの獣」。この時は小さな役に過ぎなかったが、それが名匠アンドレ・テシネ監督の目に留まり、彼が手がけた戦争ドラマ「かげろう」でヒロイン、エマニュエル・ベアールの相手役に大抜擢される。この作品で鮮烈な印象を残したウリエルは、一躍フランス期待の新星として大きな注目を集めるようになる。続いて世界的大ヒット作「アメリ」の監督・主演コンビが手がけた話題作「ロング・エンゲージメント」で準主演に起用され、作品のヒットと共にウリエルの知名度も世界的なものとなる。そして07年、トマス・ハリス原作「ハンニバル」シリーズ最新作として大きな注目を集めたサスペンス大作「ハンニバル・ライジング」に主演、それまで名優アンソニー・ホプキンスが演じてきたレクター博士の青年時代という大役を見事に演じきり、映画の都ハリウッドにもその大きな第一歩を記すことに成功。モデルとの間に男児も生まれ、フランスの若手アクターとして今後さらなる活躍が期待されていたが22年1月、家族と訪れたスキー場で別のスキーヤーと衝突。病院に緊急搬送されるも翌19日に息を引き取った。享年37歳。

【フィルモグラフィ】

トワイス・アポン・ア・タイム (2019～)	出演
愛欲のセラピー (2019)	出演
この世の果て、数多の終焉 (2018)	出演 :ロベール・タッセン
ワンネーション・ワンキング (2018)	出演
エヴァ (2018)	出演 :ベルトラン・バラデ
グザヴィエ・ドラン バウンド・トゥ・インポッシブル (2016)	出演
ザ・ダンサー (2016)	出演 :ルイ・ドルセイ伯爵
たかが世界の終わり (2016)	出演 :ルイ
サンローラン (2014)	出演 :イヴ・サンローラン
約束の葡萄畑 あるワイン醸造家の物語 (2009)	出演 :天使ザス
インサイドゲーム (2009)	出演
ハンニバル・ライジング (2007)	出演 :ハンニバル・レクター
ジャック・ソード 選ばれし勇者 (2007)	出演
パリ、ジュテーム (2006)	出演
ロング・エンゲージメント (2004)	出演 :マネク
THE LAST DAY (2004)	出演
かげろう (2003)	出演 :イヴァン